

令和6年度 市政に関する市民懇談会記録（稻村公民館）

日 時 令和6年10月6日（日）午後2時～

会 場 稲村公民館 多目的ホール

参加人数 31人

出 席 者 市長、企画部長、市民生活部長、
企画政策課長、企画政策課長補佐、情報戦略担当（事務局）

テー マ 「みんなが幸せに生きられるまちにするにはどうしたらいい？」

《意見交換》

参加者：市の施策は住んでいる人の声との距離感があると感じる。

那須塩原市図書館みるるは、作品展示等に利用したくても空いていなかったり利用料が高かったりと、利用が難しい。地域の文化を育てるためにも利用しやすくしてほしい。

道の駅「明治の森・黒磯」リニューアル後、品物が高くなつたので、地域の人が利用しやすい価格にしてほしい。

市 長：施設は採算性も考えなければならない。公民館なども利用できるのでそちらも活用をしていただければと思う。今後も皆さんを使いやすい仕組みを考えたい。

参加者：ごみステーションが自宅から離れている地域では、高齢者や障害者がごみを捨てるのが困難。ゴミステーションの増設や個別収集等ができると便利になると思う。

市 長：本市は面積が広いので、地域に寄り添った施策を行っていきたい。

参加者：歩道に段差が複数あり危険だったので、市担当課に対策をしてもらった。また、通学路で水たまりがひどいところがあったりして、他にも道路で危険なところがあるので、子どもの安全のためにも対策してもらいたい。

市 長：通学路の危険箇所の把握はしている。市全域を同時に解決は難しいが、危険がないように順次対応していきたい。

参加者：長寿センターの温泉が今後、どうなるか進捗状況を知りたい。

市 長：維持にコストがかかっているため、民間による活用も検討しながらニーズに合う形にしていきたい。

参加者：市で導入した入湯税の使途を教えてもらいたい。

市 長：入湯税はコロナ禍で臨時の増税を行い、増加額を財源にコロナ対策として宿泊事業者にPCR検査を定期的に受けてもらった。

参加者：本庁舎前の非核平和宣言都市の看板が木の陰になって劣化している。いい取り組みなので、市民の目に映るようにできないか。

市 長：新庁舎建設もあり、非核宣言都市等の看板をどうするかは検討していきたい。

参加者：みるるは、活気があつていいと思う。

東北大震災以降、中学校の体育館が大勢で活動すると揺れるようになった。グラウンドが陥没したり水はけが悪かったりする箇所がある。

中学校入口付近の森を、市で買い取りできないか。

保育士の給料が低いので改善してほしい。

コロナワクチンのメリットだけではなくデメリットも市で発信してほしい。

市 長：学校設備の破損等は把握しており、教育環境を良くしていきたい。

保育士の確保が難しい状況であり、待遇を良くしていきたいと思っている。

ワクチンのメリットデメリットは、適切に情報発信をしていきたい。

参加者：自治会でイベントをすると参加者は高齢者が多く、若者や子どもが少ない。地域のふれあいが幅広い世代ができるアイデアがあれば。

市 長：市でも旧市町のイベントはあったが「那須塩原市」としてのまつりが無い。皆さんと新しいアイデアを考えたり、フォローアップをしたりしていきたい。

参加者：子どものマイナンバーカードの受取方法が煩雑なので改善してほしい。

参加者：市営住宅の管理会社が独居高齢者を見守りしてくれるようになって良かった。市営住宅は古くて空きが多いが、シャワーが付いていれば入居希望者が増えるのでは。

市 長：各種媒体で周知を進めていきたい。

参加者：認知症で問題を抱えている家族への声掛け・理解をお願いしたい。

市 長：認知症や、ヤングケアラーなど同じ境遇の人が集まるカフェなどの場ができてきている。困っている人の意見をキャッチアップしていきたい。

参加者：高校生の自転車のヘルメット着用率が低いので、小・中学生のうちから教育をしてもらいたい。

市 長：最近はデザインのいいヘルメットもあるので、着用率向上を訴えていきたい。

参加者：敬老祝金を縮小した経費は何に使われているのか。

市 長：現金を配る施策は見直しをしている。敬老会など別の形で見直しをしつつ敬老の気持ちを込めた事業を検討していきたい。

参加者：市でパワハラ・カスハラはあるか。

市 長：パワハラやカスハラをしている人は自覚がないことが多い。パワハラやカスハラについて知識を共有するなどして、問題を減らしていきたい。

参加者：ヘルプマークを付けている人が車いすを使用していた時に誰も手助けしてくれなかつたという話を聞いた。もっとヘルプマークを知ってもらいたい。

市 長：啓発を進めていきたい。

参加者：市に通学路の除草を依頼したが、対応は1ヶ月後。通学時、草を避けて子どもが道路にはみ出で危ないので定期的な除草をお願いしたい。

市 長：近年暑さのせいか草木の伸びが早く、これまでのサイクルで対処できなくなっていることは問題に思っている。

参加者：国体道路の草が繁茂しているが、所管はどこなのか？

市 長：道路の所管は国・県・市や私道に分かれているが、道路の異常や被害の通報は「安心みるレポート」アプリを利用してもらいたい。

参加者：近くの小中学校の児童生徒のあいさつが素晴らしい。話しかけると気持ちよく返事をしてくれるので嬉しい。

市 長：市は「子どもを見守るまちづくり宣言」を行って取り組みを進めている。自治会やコミュニティなどで子どもを見守り、あいさつが交わせる環境あるのはとても良いと思う。

参加者：投票所が遠く、高齢者は行くのが大変なので、移動投票所など選挙に行きやすくな

る方法があるといい。

市 長：本市は投票率が低いため、投票率向上のための方法を考えていきたい。

参加者：那須塩原市図書館みるるは勉強ができるので、とても助かっている。市民懇談会の開催を学生等が見る場所でもPRすれば、もっと若い人の意見が聞けると思う。

市 長：いろいろなジャンルの人たちと「みちたろうTOわくわくトーク」を開催しているので、参加者を若い人に特化した会も開催したいと思う。

参加者：自治体の公共施設の成功例は少ないと思う。東京では、民間資金で公共施設を建てた事例があるので、参考になるのではないか。

市 長：当初は市の予算を投入しても、投資を回収するために民間企業とのタイアップなどを行っていきたい。民間企業が来てもらえるような地域づくりをしていきたい。

参加者：長寿温泉がもし民営化したら、料金が上がるのではないか。その場合は市からの補助を希望したい。

市 長：民間活力の導入に当たり、意見を受け止めさせていただきたい。

参加者：住みやすいまちにするのが自治体の役割であり、那須塩原市の場合どうあるべきか自分でも色々考えている。

市 長：人口減少しているが、成長をあきらめてはいけないと思う。本市は転入超過だが出生数は減っているので、人口は微減。那須塩原駅周辺をしっかりと整備して、移住者に選ばれる魅力的なエリアにしていきたい。